

た、美濃部の大星に對する精神は難波大助の行爲と何等變らぬ、機軸既撲滅の意志なき岡田首相も美濃部と同様だ、年を取らねば眞鍮か何かぬと言ふ様な考へでは何の斷行も出来ない、陛下股版の由とし何事もしてゐない者が軍部大臣になつたとて何か出来るか、今日の選舉願正もこう言ふ風にさせた既成政黨諸君が唱へてゐる。恥知らずも甚しい、もつと自田黨時代の事を反省せよ。有色人種の先頭に立つ者々は何物を指しても昭和維新を斷行せねばならぬ、非合法な金をした阿茶は獄に呻吟してゐる非合法的斷行は不可能である事を考へた。菊池男爵によりて火蓋を切られた機軸既撲滅の精神を以て進むことた之天運なりと喜こんである。加藤司官を生んだ舊市民諸君は絶大なる同情と熱誠を以て後援せよ

○之より國民大會に於て

6、決議期願

別紙の通り 可 決

本決議は要路各大臣に被送す

○緊急勅諭

陸海軍大臣に鮫白書提出の件

別紙の通り期願 可 決

7、演 説

○皇國の大道は死を以て履るべし

大國眞國國(佐賀) 元 石 榮

一部では非常時と言ひ、一部では非常時ではないと言ひ或は限られたる人達か造つた非常時だ等と斷せられて来たが、今や赤坂は皇國に沸々としてゐる國難に對して高位顯官は赤坂が足りない、之等老練した者を集めねばならぬ、これ國家の